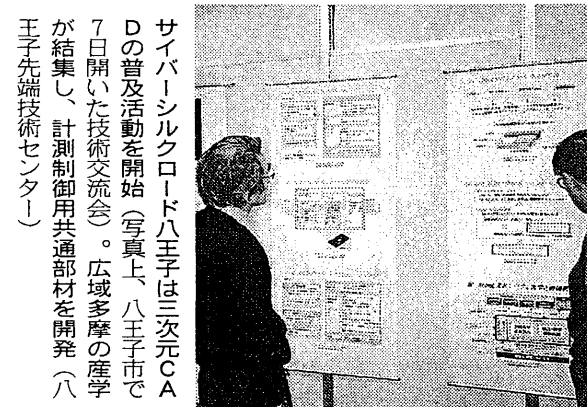
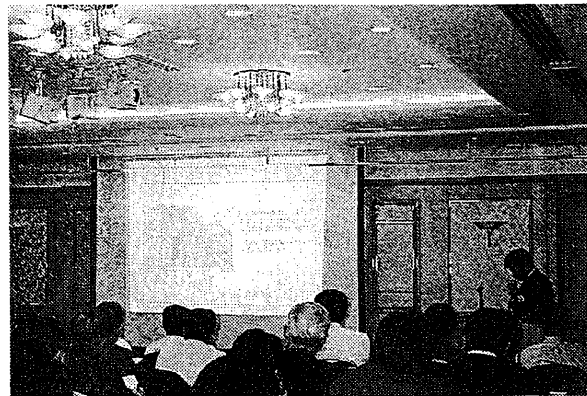


# 多摩のいぶき TOKYO WEST

ものづくり王国への夢 ①

東京都八王子市の京王プラザホテル八王子で七日、三次元CAD(コンピューターによる設計)システムのメーカーや利用企業の関係者が最新技術の動向などに熱弁をふるった。市と地元商工会議所が運営する地域産業の振興組織のサイバースルクロード八王子(甲谷勝人会長)主催の技術交流会だ。地元中堅・中小企業を中心に定員を上回る百十人が聴講した。



サイバースルクロード八王子は三次元CADの普及活動を開始(写真上、八王子市で7日開いた技術交流会)。広域多摩の産学が結集し、計測制御用共通部材を開発(八王子先端技術センター)

## ニッポン復活 先導目指す

が企業の壁を超えて使っている業界は「ものづくりニッポン」の牙城とも言える自動車産業だけとみる。だが、電機、精密機器が主力の多摩でも、三次元CADが部品製造や加工を手掛け、サイバー八王子の活動第一弾だ。サイバー八王子は日本でこうした体制が整備されて

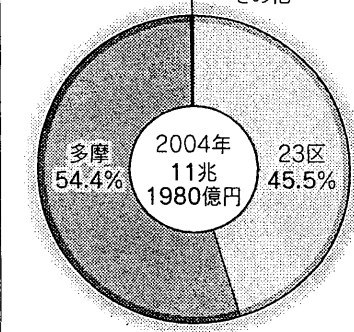
一方、設計者の人材育成コンサルタントとしてサイバー八王子を支援するプラナー(長野県下諏訪町)の栗山弘社長(50)は「三次元CADを普及させるには、使いこなす人材の育成が不可欠。大学が自らの研究だけでなく、地域の企業に実践教育の場としてシ

## 地域一体で中小育成

換などで電機、精密機器メーカーの工場や研究所が多数進出してきた多摩。周辺には部品の精密加工など日本のものづくりをすす野で支える中堅、中小企業も多くの誕生した。

STEMを開放するなど、産学一体の取り組みが必要」と指摘する。戦後、京浜工業地帯からの移転や軍需工場の民需転

東京都の製造品出荷額(東京都調べ)



技術移転機関(TLO)を担う人材育成の仕組みづくりを地域でどれだけ進められるかが課題と言える。年間の製造品出荷額が東京二十三区を上回る多摩で、産学官が地域の中堅、中小企業を「ものづくりニッポン復活」の主役に育てようという機運が高まっていく。多摩のものづくり振興の可能性を追う。